

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量・設計業務委託（梅木川支川）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	Bor. No. 6	調査位置	広島県呉市大山町地内	北緯	34° 16' 34.4391"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	2020年 2月 29日 ~ 2020年 3月 3日	東経	132° 31' 30.9735"
調査業者名		主任技師		現代場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T. P. 84.97m	角		方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	11.00m	度		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 7°
使用機種	試錐機 YBM-05D	エンジン	ヤンマー-NFD-7	ポンプ	TAP-150

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室原位置試験	削孔月日				
												深度-N値図									深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
	84.27	0.70		雑混じりシルト質砂	褐〜灰褐					φ5~30mmの亜角礫を10~30%混入。基質はシルトを多含する極相粒砂〜細礫。含水は中位〜小。深度0.5~0.6m間は褐色が濃く、植物根あり（旧表土）。	02/29 4.55	7	1.15	1	2	4	7	300						
1				玉石混じり砂礫	褐灰〜褐	rd3			新	1~7.5~24cmの玉石、φ2~60mmの角礫〜亜角礫を50~80%混入。基質はシルト混りの半固結状極粗粒砂〜中礫。含水は深度2.6m以上は中位であるが、これ以降は小である。		22	1.46	8	11	3	22	300						
2									代			150	2.46	6	44	0	50	100	100					
3									四			10	3.10	5	3	2	10	300						
4	80.97	4.00		砂礫	灰褐	rd3			紀	φ5~50mmの角〜亜角礫を40~50%混入。基質はシルト混りの半固結状極粗粒砂〜中礫。含水は小。	03/03 8.40	28	4.16	4	11	13	28	300						
5												20	5.16	5	8	7	20	300						
6	78.42	6.55										100	6.45	7.00	25	25	50	150	150					
7	77.97	7.00		強風化花崗岩	褐					指で掴めない土柱状。岩石組織は不明瞭。岩芯わずかに褐色。礫混り砂状のDM級岩盤。		214	7.15	50	70	50	70	70	70					
8	76.82	8.15		風化花崗岩	灰褐				中	指で砕けないオニマサ状コア。岩石組織は明瞭だが、面沿いに褐色となる。DH級岩盤。		9.00	8.00	50	70	50	70	0	0					
9	75.67	9.30		風化花崗岩	灰褐〜褐灰				生	局所的にやや硬質な片状コアを挟む。		9.00	9.00	貫入不能	50	0	0	0						
10									代	ハンマー軽打で鈍い金属音し、黄白色帯びる片〜短柱状コア主体。岩石組織は明瞭だが、高角度亀裂沿いに白色を帯びる（深度8.2m付近、8.45m付近、8.7m付近、8.8~9.2m間）。CL級		10.00	10.00	貫入不能	50	0	0	0						
11	73.97	11.00		花崗岩	灰〜褐灰				白	ハンマー軽打で金属音する長柱状。高角度亀裂沿いにW=1.0mm以下の白〜灰色の固結粘土を挟む（深度9.4~9.7m間、10.75~10.85m間）。CM級岩盤。		11.00	11.00	貫入不能	50	0	0	0						